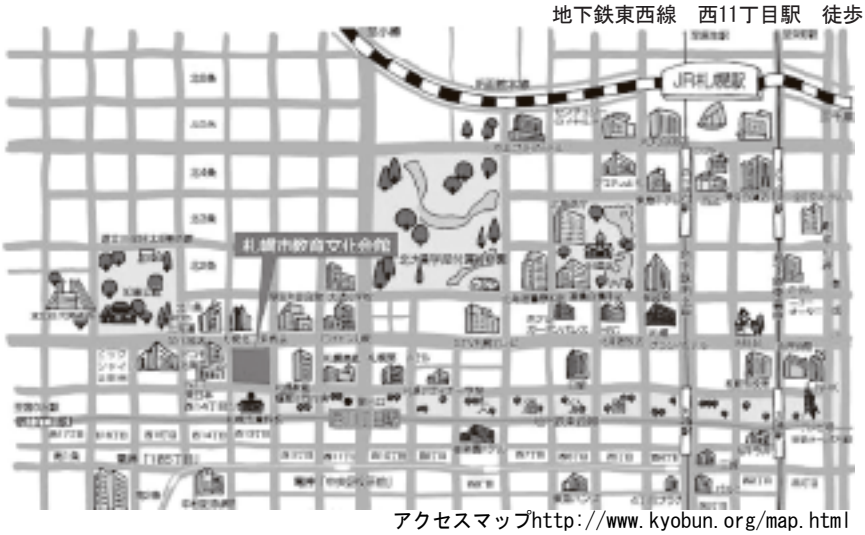
# ●●● 北海道自治体学会2007年度政策シンポジウム＆総会 ●●●

日　時　　平成19年６月２日（土）　10時開始（受付は９時30分から）
場　所　　北海道教育文化会館　（TEL 011-271-5821）札幌市中央区北1条西13丁目
地下鉄東西線　西11丁目駅　徒歩５分




アクセスマップhttp://www.kyobun.org/map.html

## ■自治体学会総会　10:00～10:45

議題「役員改選、予算・決算、事業計画など」

## ■政策シンポジウム

**政策シンポジウムテーマ「わがまちの財政は？～夕張問題に学ぶ」**

政策シンポジウムは、会員の研究交流を目的に毎年実施しているものです。
今年は「わがまちの財政は？～夕張問題に学ぶ～」と題し、事例を通じて我がまちの財政状況を確認し、自治体財政の危機をどう乗り越えていけばよいのか、自ら何ができるのかを考えます。

10：45～12：00　午前の部ー問題提起（夕張問題から地方の課題をみる）
吉岡　宏高さん（札幌国際大学観光学部准教授）「夕張問題の基礎知識」
佐藤　克廣さん（北海学園大学法学部教授）　「夕張問題をどう見るか」

12：00～13：00　昼休み
13：00～16：00　午後の部ー分科会１～３

### 分科会１

**「自治体財政をどう建て直すか」**

景気浮揚策としての公共事業の実施による借金や交付税の減少など、厳しい財政状況の中で自治体運営は苦しさを増している。これからの我がまちの財政を、どう切り盛りしてゆけばよいのか、その手法などをみなさんで議論しませんか。

アドバイザー：西村 宣彦さん
（北海学園大学経済学部講師）
肥沼　位昌さん
（所沢市役所職員）
司　会　：大坂　敏文
（北海道自治体学会運営委員・江差町役場職員）

### 分科会2

**「財政再建における住民参加のアプローチ」**

行政に頼めば何でもかなう時代は終わりを告げた。自らできることは自らが行うといった自治の原点に立ち返る必要があるのではないか。住民と行政との役割分担を再確認し、住民自治とは何か実践者の言葉からそのヒントを探ります。

アドバイザー：吉岡　宏高さん（司会）
（札幌国際大学観光学部准教授）
松本　懿さん
（酪農学園大学教授）
高橋　一太さん
（夕張青年会議所理事長）
三膳　時子さん
（NPO法人霧多布湿原トラスト理事長）
家内　裕典さん
（株式会社やない代表取締役）

### 分科会3

新企画！

**「研究・政策スタジアム」**

大学院生や若手研究者が自治に関する自身の研究成果や政策提案を発表し、来場者と質疑応答や意見交換を行います。新たな発想や提案をもとに互いに触発しあうことを期待しています。

司会・アドバイザー：山崎　幹根さん
（北海道大学公共政策大学院教授）
発表者：
「本道食料品産業の活性化に向けた考察ー
本道製菓産業を手がかりとしてー」
岡村　正俊さん
（北海道大学公共政策大学院修了・北海道職員）
「夕張問題の財政学的研究（仮）」
木村　真さん
（北海道大学公共政策大学院特任助手）
「産炭地域の活性化と学生の関わり（仮）」
里見　健司さん・菊地　覚さん
（札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科）

参加費　（会員）無料　（非会員）1,000円　（学生）500円　※会員の方は、別添の参加券をお持ち下さい。
申　込　別添の申込用紙または下記の①～⑦を記入し、FAXかEメール、官製ハガキで５月25日（金）までにお申し込み下さい。
①氏名②所属③住所④連絡先⑤会員・非会員⑥総会の出欠⑦希望の分科会
申込先　北海道自治体学会事務局　〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 札通ビル8Ｆ　北海道NPOサポートセンター内
ＦＡＸ　011-261-1921　Ｅメール jichigakhok@yahoo.co.jp
※　内容の一部が変更される可能性がありますのでご了承ください。